

地区ホームページの「クラブの相談窓口」 問い合わせ回答

2015-16 櫻木ガバナー年度
 管理運営委員会
 文責：委員長 金子 公久
 E-Mail：kokusai@nctv.co.jp

《相談窓口依頼内容の回答》

《クラブからの相談内容》
<p>クラブ委員会構成に関わる質問</p> <p>1) 推奨クラブ委員会組織へのクラブ対応について</p> <p>2) 管理運営委員会並びに奉仕プロジェクト組織構成について</p>
《当委員会の見解と回答》
<p>1) 推奨クラブ委員会組織へのクラブ対応について</p> <p>推奨クラブ委員会構成の一般的な解釈は、国際ロータリー理事会が推奨するクラブ委員会構成です。文字通り一般的に奨める構成です。各クラブにCLPが推奨された推奨ロータリークラブ細則の第8条委員会には5つの委員会を設けるべきである。と記載されています。</p> <p>この委員会を全て設けるかの判断はクラブの裁量権の範囲内ですが、クラブ会員が少数のクラブに有っては形式だけ5つの委員会を設けるのも如何なものかと思えます。少数の会員なればこそクラブ管理運営に会員増強や広報を取り込み、また、奉仕プロジェクトに財団を取り込んで、2つの統括的な委員会組織も可能なはずですが。この辺りは全て推奨ロータリークラブ細則に依らなくても、クラブが独自に判断し、会員相互の意思決定により、自クラブに相応しいクラブ組織とこれらの管理運営を考慮した細則変更に取り組み、クラブに相応しい委員会組織を望まれては如何でしょう。</p>
<p>2) 管理運営委員会並びに奉仕プロジェクト組織構成について</p> <p>この対応は、一つはクラブの会員数と、二つには委員会の細分化が深く関係すると思えます。仮に管理運営委員会の場合も最低必要な委員会を小委員会として設け、統括委員長の下に、各小委員長が活動を支える組織構成を整えられると思えます。会員がある程度多いクラブの場合はその小委員会が細かく設けられ小委員長が多くなると考えます。</p> <p>あるいは、会員数が少ないクラブは、管理運営委員会に幾つかの委員会を統合して、委員長がその責任者となり、小委員会は設けない構成です。いずれの場合も、委員会構成を2つ、5つとするか、またその委員会の下にいくつの委員会を設置するかは、クラブ会員の総意で組織を考えた構成を設けるべきです。形式にとらわれた委員会構成は、外部の受けは良いですがクラブ自体の活動が伴わなければクラブの活性化は継続できないと思われます。クラブの環境や、地域性等諸条件が地区内クラブでまちまちです。全てのご判断はクラブの裁量に委ねられております。地区ガバナーや地区委員会が指示をすることは出来ません。是非、自クラブに相応しい委員会構成とされるよう望まれては如何でしょう。</p> <p>なお、奉仕プロジェクトの場合も同様です。</p> <p>そして、このような考え方がCLPの基本だと考えます。</p>

これに関して再度のご質問や、別件のご質問を歓迎します。どうぞ何なりと質問をお寄せ下さい。次年度櫻木ガバナーの下、活動します地区管理運営委員会を宜しくお願い申し上げます。